



# HANA 奥武蔵の花

施設隣接型小中一貫校 奥武蔵創造学園

飯能市立奥武蔵中学校  
学校だより 第8号

令和4年11月1日  
校長 安田 孝之

## 「和をもって貴しとなす」

本学園の小中学校合同による音楽会が3年ぶりに10月29日本校体育館で開催することができました。音楽は、時間の芸術といわれるとおり、児童生徒の演奏は聴く者の心に感動を与え、何か目に見えない大切なものを気づかせてくれる、そんなひとときでした。

ひとつの作品をみんなで創り上げる作業は、困難さの苦い思いだけでなく完成したときの達成感もまたひとしおです。出来栄えに優れ、ミスを感じさせない格好の良いものが素晴らしいのではなく、一人ひとりの思いが込められた作品であれば私は十分と考えます。

さて、過日本校を訪れた方が生徒に「この学校の良いところは何ですか」と尋ねたときの話です。尋ねられた生徒は、とても困った顔で答えを探していました。その時の答えは「男女の仲がとても良いことです」と。すると、周りで見守っていた数名の仲間から「そうだ、そうだよねー」と同調する声があがりました。私は、彼らからの「仲良し」の言葉に少しの嬉しさと驚きを感じ、併せて同調意識への危惧も禁じえませんでした。

確かに、学校生活の随所で前出の生徒の言葉どおりの姿を見ることが多いですし、そんな姿勢が学校全体の和やかな雰囲気醸し出しているのかも知れません。本校では、「奥武蔵中学校人権宣言」を全校生徒が行っています。「私は、人権宣言の〇条に賛同します！」と宣言し、その理由を述べて自身で遵守していくことを目指しています。これが様々な行

動として実行できている点が自慢のひとつです。有言実行は、我々大人にとっても大変難しいことですが、生徒は果敢にその実行に挑んでいます。

生徒たちの演奏のハーモニーは、日々の生活を映し出すかのようなようです。良好な友人関係から人を愛しむ心を育て、他者を大切にできる寛容さを身に着けて欲しいと願います。まさに「和をもって貴しとなす」の実践です。

今月は埼玉県が推進している「いじめ撲滅強調月間」。相手の心を大切にすることで自分を大切にすることに繋がること、周りの意見や考えに流されることなく、自身の強い意志でこの問題を無くしていきたいものです。



### HANAことば

思春期を迎え、悩みが多いのは生徒ばかりでなく、親もまた同じ。子どもは、家と学校とではまったく違った姿だったり、口数が減っていったい何を考えているのかが不安になったりと、自分の思春期を重ねても何かわからない……

そんなときこそ、学校へひと声かけてはいかがでしょうか。専門のスタッフが対応します。